

複式3学級を解消する。

へき地学校単級、複式学級解消計画

級編制別	年度	39	45	50	解消学級数	
					40 ~ 45	46 ~ 50
小学校	単級式	18	15	15	3	-
	複式	222	171	165	51	6
	計	240	186	180	54	6
中学校	単級式	7	3	3	4	-
	複式	5	3	3	2	-
	計	12	6	6	6	-

(3) 施設設備等教育諸条件の改善をはかる。

ア 通学方法の合理化

通学困難な児童、生徒に対しては、スクールバスの運行、寄宿舎の設置等通学方法の合理化を実現する。

スクールバス、寄宿舎設置計画

	39	45	50	新設数	
				40 ~ 45	46 ~ 50
スクールバス	5	10	15	5	5
寄宿舎	25	45	65	20	20

イ へき地集会室の整備

屋内運動場をもたない積雪地域のへき地学校にあっては、冬季間の授業に、著しい支障をきたしているのを、へき地集会室を目標年次まで、60か所増設する。

へき地集会室設置計画

	39	45	50	新設数	
				40 ~ 45	46 ~ 50
へき地集会室	17	47	77	30	30

ウ へき地学校給食（完全給食）の完全実施

へき地における学校給食の充実、焦眉の急務であるので、昭和45年度までに100%の実施を目標に給食施設を充実する。

へき地学校給食実施計画

	算出の基礎	整備を要する学校
小学校	昭和45年度へき地学校数 166校 - 給食実施校 30校 = 136校	136校
中学校	39校 - 5校 = 34校	34校